

山本かずひと



令和4年度予算案が発表！



※写真：成澤区長と区長応接室にて

令和4年がスタートし、区議会も今年最初の定例議会が始まりました。今定例会は、新年度予算も審議される予算議会となり、3月24日まで45日間の日程で各種議案等が審議されます。

新年度予算の一般会計については、対前年度比4.1%増の1,123億6,900万円となり、過去最高を更新致しました。歳入の根幹を成す、特別区税は納税義務者の増加等により、対前年度比2.6%増の359億9,000万円と、これも過去最高額を更新することとなりました。新年度予算については、コロナ禍ではあるものの、地域活動の担い手を支援するために、新たな助成金の制度を申し入れる等、随所に議会の要望が反映された予算となりました。詳細については、今後の区政リポートでご報告させていただきますので宜しくお願い致します。

新年度予算の主な概要について

- 「子どもたちに輝く未来をつなぐための施策について」**
2年連続待機児童数が1名と、保育所の整備が大幅に前進致しましたが、新年度では国基準を上回る保育士を配置した事業者に対し、最大で保育士一人当たり人件費の2分の1を補助することや、ベビーシッター利用料助成制度について、対象年齢の拡大と新たに家事・育児サポート事業を実施、また保育所と連動している育成室についても、誠之小・明化小・柳町小の学校改築に併せた整備を始め、公・民有地を活用した更なる整備を進めて参ります。
- 「健康で安心な生活基盤の整備について」**
新型コロナワクチンの3回目接種及び未接種者に対する接種を実施擦ると共に、接種体制を更に拡充します。接種率に関しては、1月24日現在で2回接種を終えた割合が、高齢者が91.3%、12歳～64歳が82.3%で、全体で86.1%となり国基準の80%を大幅に超えました。3回目の追加接種に関しても、6カ月を目途に順次接種券が発送されております。区が確保しているワクチンはファイザー製が88,920回分、モデルナ製が90,750回分の計179,670回分が確保されております。区民対象者が166,000人なので数は十分確保されております。但し、重症化リスクの高い高齢者には、優先的にファイザー製が供給されます。
- 「活力と魅力あふれるまちの創造について」**
コロナ禍における区内産業の更なる経済支援策として、**持続可能性向上支援補助金制度**と各種認証取得費等補助の拡充を実施致します。特に、人気の高い持続可能性向上支援補助金については、4月に募集を掛けて先着順で予定件数に達した時点で受付が終了となりますので、是非早目のご準備をお願いします。補助率3分の2で上限額が50万円となります。注意点として、設備を購入する前に予めクールネット東京（都外郭団体）に省エネ効果を診断してもらい、そのデータと併せて申請書を提出する流れとなります。 お問合せ：5803-1173 区役所経済課
- 「環境の保全と快適で安全なまちづくりについて」**
脱プラスチック製容器等購入費補助制度について：ぶんきょう食べきり協力店登録店舗、又は文京ソコジカラ登録店舗の飲食店計442店舗を対象に、テイクアウトや持ち帰り等に使用しているプラスチック製容器等を紙・木・竹等を素材とした環境配慮型容器等に変更した場合、又は新たにテイクアウト事業を開始する際に、環境配慮型容器等を導入した場合に最大年12万円補助されます。
- 「持続可能な行財政運営について」**
地域活動・文化活動復興支援事業について：新型コロナウイルス感染症の影響を受けている地域活動やスポーツイベント等の再開・活性化を後押しするために、新たな事業補助（1事業10万円）を行います。町会・自治会、青少年健全育成会、スポーツ団体等の皆様には是非活用して頂くために、区議会としても区に要望して参りました。